

ほんがいっぱい



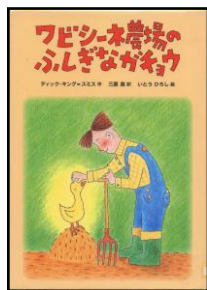
よんでみよう!

3・4年生のための本

①『ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ』 《Fキ》

ディック・キング＝スミス／作 さく みはら いずみ やく 三原 泉／訳 え いう ひろし／絵 しよぼう あすなる書房

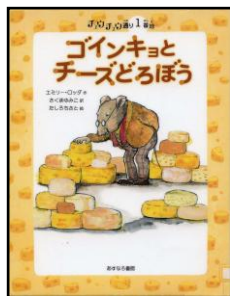
ワビシーネ農場のうじょうのスキャンピンさんは、びんぼうで運うんのわるい人ひとでした。なにもかもがうまくゆかず、のこったのはつがいのガチョウだけ。ところがある日、メスのガチョウが金色きんいろのたまごをうみました。そのたまごからはなんと、金色きんいろのひながうまれたのです!



②『ゴインキョとチーズどろぼう』 《AFロ》

エリー・ロッダ／作 さく さくま ゆみこ やく 三原 泉／訳 え たしろ ちさと／絵 しよぼう あすなる書房

チュウチュウ通り1番地ばんちにすんでいるハツカネズミのゴインキョ。お宝たからチーズをいっぱいもっているゴインキョのところに、ある夜、「どろぼうにちゅうい」という手紙てがみがとどいた。おどろいているところへ、ガードマンださんという三びきのドブネズミがやってきて…。



ところざわしりつところざわとしよかん
所沢市立所沢図書館 2011年 ねん

③『ティナのおるすばん』

リナ・コルシノフ／作 さく いしかわ もとこ やく 石川 素子／訳 え やじま ますみ 徳間書店 《Fコ》

たったひとりのおるすばん。ティナは楽しい計画けいかくをたて、おとなみたいおとなにちゃんとやれると思っていた。だけど、朝あさからいやなことばかりがっこう。学校はちこくするし、かぎをわすれて家にはいれない。おまけに親友しんゆうのアネッテにどろぼうあつかいされるなんて…。



④『ケーキやさんのゆうれい』 フレーベル館 《Eプ》

ジャクリン・K・オガバツ／作 さく マジヨリー・プライスマン／え ふくもと 福本 友美子／やく ゆみこ

コーラ・リーは国いちばんのケーキやさん。ところがコーラ・リーがしんでしまうと、お店みせは売りに出されてしまいました。その後、何人なんにんもの人がそこでケーキやを開ひらきますが、コーラ・リーのゆうれいがじゃまをして、おいだしてしまいます。ある日、アニーがきて…。



⑤『金のニワトリ』

エレン・ポガニ／文 ぶん ウリー・ポガニ／え え 光吉 夏弥／やく なつや 岩波書店 《M》 いわなみしよてん

むかし、ある国にダドーンという王さまおうがいました。しあわせにくらしていましたが、そこへ、「くらやみ山やま」にすんでいる、わるいまほう使いつかいが、手下てしたをつかってせめこんできました。

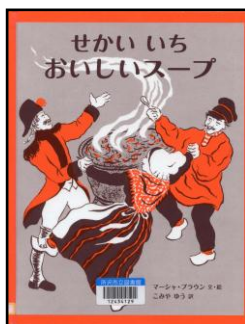
こまった王さまのところへ、年としをとった男おとこが金のニワトリをつれてきて…。



⑥『せかいいちおいしいスープ』

マーシャ・ブラウン／文・絵 ぶん え こみや ゆう／訳 やく いわなみしよてん 岩波書店 《M》

三人のおなかをすかせたへいたいが、たべものをもらおうと村にやってきました。ところが村人たちはなんにもくれません。するとへいたいたちは、石でスープをつくといいだしました。石のスープってどんなあじがするのでしょうか？ 村人たちは気になって…。



⑦『かさをかしてあげたあひるさん』

むらやま かずこ ちよ やまぐち え 福音館書店 《Fム》

ある雨の日、あひるさんは、にわとりさんから「かさをかしてほしい」といわれます。そこで、あひるさんはお母さんに、にわとりさんへ、かさをかしてあげたいといいますが、お母さんはかしてくれません。あひるさんが、とてもかなしくてなっていると…。



⑧『じごくのそうべえ』

たじま ゆきひこ／作 さく どうしんしゃ 童心社 《Eタ》

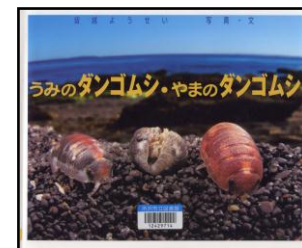
とざいとうざい。かるわざしのそうべえ。いっせいいちだいのつなわたりでござあい。ところが、つなから落ちてあの世行き。ついたところは、じごくの入り口。ふんにようじごくにはりの山。そやけど、わしらまけへんで。おにをあいてに大あばれや！



⑨『うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ』

みなごし 皆越 ようせい／写真・文 しゃしん ぶん いわさきしよてん 岩崎書店 《48》

海べの砂の中にもダンゴムシがいるんだよ。山にも町にも、赤や青やパンダもようのダンゴムシまで。いろんなばしよで、さがしてみよう！『ダンゴムシ みつけたよ』、『やあ！ 出会えたね ダンゴムシ』も読んでみてね！



⑩『ことばあそびうた』

たにかわ しゆんたろう し せがわ やすお え 福音館書店 《91.1》

さあ、みんな、声に出してよんでみよう！たのしいことばあそびがいっぱいのっているよ！

⑪『ちのはなし』

ほりうち せいいち 福音館書店 《49》

いたい！ちがでちやった。このあかいちはどこからくるんだろう。きずをじっくりみてみよう！

⑫『シマリス』

たけたづ みのもる ぶん しゃしん かん 福音館書店 《48》

ヒョコ ヒョコ オスがメスをよぶ恋の歌。その歌が聞こえたらシマリスの一年の始まりです。

⑬『とりになったきょうりゅうのはなし』

おおしま えいたろう さく 福音館書店 《45》

つばさのあるきょうりゅうがいまでもすがたをかえて、いきているんだって！すぐそばにいるよ！

⑭『メアリー・スミス』

アンドレア・ユールン／作 さく ちば しげき やく 光村教育図書 《Eユ》

メアリー・スミスの仕事はチューブにこめた豆をまどにとぼすこと。そんな仕事ってあるの！？

⑮『バレエなんて、きれい』

ジェニファー・リチャード・ジェイコブソン／作 さく 武富 博子／訳 講談社 《Fジ》

ウィニーは、ヴァネッサとゾーイといつでもいっしょ。でもバレエ教室が始まって…。